

隊 友

湘南支部ニュース

令和7年6月号 (No.260)

発行責任者

公益社団法人隊友会 神奈川県隊友会

湘南支部長 中尾 剛久

茅ヶ崎市赤羽根 2661-26

Tel: 090-4897-4074



「就任に際し、ご挨拶」
湘南支部長 中尾 剛久

国民と自衛隊との架け橋！



隊友会湘南支部会員の皆様、初めてまして。令和7年5月24日の総会において、清崎忠園前支部長の後任として承認されました、中尾剛久（なかおたけひさ）と申します。2020年8月に海上自衛隊を退官して5年余りなので、支部会員の皆様の中では若輩者に当たるかと思います。簡単に自己紹介をしますと、私は、昭和37年鹿児島県の生まれ、現在62歳になります。縁ありまして茅ヶ崎市に自宅を構え、現在妻と3人の娘と共に住んでいます。現役の頃は各地を転々としておりましたので、茅ヶ崎市民になりましたのはたった5年前になります。防衛大学校（29期）卒業後、昭和60年に海上自衛隊に入隊しました。海幹候は36期になります。遠洋練習航海を終え、初級幹部の頃は護衛艦に乗組んでいましたが、経補幹部要員の指定を受け、以後は主として経理補給などの後方支援分野の配置・勤務を重ね、佐世保地方総監を最後に退官しました。

まず、14年間の永きにわたり隊友会湘南支部長として尽力され、当支部に対し多大のご貢献をいただきました清崎前支部長に衷心から感謝を申し上げますとともに、敬意を表します。

私の初めての海幕勤務は、平成6年8月に着任した需品課需品班員でした。この時需品課長として私を迎えていたのが清崎前支部長でした。その翌年の1月に阪神淡路大震災が生起しました。

海上自衛隊としても現地での捜索救難や復旧支援、あるいは被災した方々に対する生活支援等のため、組織を挙げて対応しましたが、その中には需品課が所掌する非常用糧食の支援・運搬などもありました。当時は隊員のために調達した非常用糧食（いわゆる缶詰飯）は、大変厳しい管理規則があり、輕々に自衛隊員以外の方々にお渡しすることはできることとなっていましたが、当組織は常に支部運営に携われている姿で、感謝の念を新たにしました。同時に、自分に支部長の任が務まるのかという一抹の不安を覚えました。若い頃は、「仕事は3か月で覚えたならばできない決心だったのかもしれません。それから15年ほどのち、私が横須賀地方総監部管理部長の折のことですが、既に退官されていた清崎さんが湘南水交會会長と隊友会湘南支部長の両方に同時に就任されるらしいといふ話を聞きました。「一つでも面倒な立場なのによく引き受けられたな、大丈夫なのか？」と大変失礼な感想を抱いたものです。当然ながら、14年後に自分自身が隊友会湘南支部長の後任者になるとは夢にも思つておりませんでした。

これも縁なのか、ご配慮なのか、図らずも支部長の任を承ることになりました。これまで一会员としていくつかの会合や総会等に参加させていただいたのみで、理事役等として支部全体の運営に携わった経験は皆無です。

現時点では湘南支部長として支部体を導くには力量不足であることは、清崎前支部長と比較するまでもなく明らかです。先日初めて理事役に参加しましたが、それぞれにおかれましては、特に理事役の皆様にはご協力とご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げてご挨拶に代えさせていただきます。

令和7年度隊友会湘南支部 総会・防衛講演会及び懇親会を開催

隊友会湘南支部は、5月24日(土)に藤沢市商工会館ミナパークにて令和7年度支部総会（28名）防衛講演会（39名）及び懇親会（35名）を開催した。

総会は、国家斎唱、昨年度逝された会員に対する黙祷、支部長挨拶のあと田中理事役を議長へ選出し議事に入り「令和6年度支部活動・同決算」報告がなされ、次いで「平成7年度支部活動計画・同予算」及び「支部役員の改選」の3議案が提議され、それぞれ満場一致で承認されました。役員改選では、14年間支長を務めた清崎忠園氏の退任を認め、新支部長に元海将の中尾剛久氏が選出された。

議事終了後は、令和7年度支部長表彰があり8名（内4名欠席）の特別会員、役員が支部長から表彰され、支部総会は無事終了した。

イデアのある方には、立場は別にして、是非ご意見を承りたいとも思う次第です。

会員の皆様にはそのような事情を理解の上、寛恕いただきますとともに、特に理事役の皆様にはご協力とご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げてご挨拶に代えさせていただきます。

る軍事的脅威とその対策——無人機による脅威を中心に——と題して行われた。講師は東アジアにおける日本の立ち位置として世界で最も厳しい安全保障環境になると話された。まず、ロシアが勝利した場合、世界が力による一方的な現状変更を容認したこととなる。次に、中国による台湾統一のシナリオである。繰り返す台湾周辺での軍事演習によるサラミスライス戦略、サイバーや海底ケーブル切断等による通信遮断、経済封鎖によるエネルギーや食料品の途絶など段階的に進められていくではと説明された。最終的には、台湾周辺に機雷を敷設し同盟国が台湾海峡付近での作戦行動は困難になると話された。また、台湾海域に敷設された機雷は、時間と共に海流に乗って日本海域に流れ着いてしまい日本の存立危機事態にもなる。

日本においては、軍事的抑止、経済的抑止、文化的抑止を進めていく段階であるが、中でも水上・水中無人機（UUV・UUV）の早期戦力化が2027年までには必要になると、資料を基に分かりやすく講演された。出席者から積極的な意見や質問が多くあり、誠に時宣を得た講演で活気のある防衛講演会となつた。

剛士衆議院議員、松長泰幸県議会議員、

本日の講師河上康博氏はじめ来賓多数の

ご出席のもと、テクノブリッジ㈱牛尾裕春氏による乾杯が始まつた。中でも講師を務められた河上氏の周りには多くの方々が輪をなし議論に花が咲いた。盛り上がりつた懇親会も高木幸夫支部相談役の方締めにより、令和7年度総会・防衛講

会・懇親会の一連の行事が無事終了しました。なお本総会、防衛講演会及び懇親会に對し次の方々から祝電を頂戴しました事、感謝の気持ちと共にお名前をご披露いたします。

- 平塚市長 落合克宏様、茅ヶ崎市長 佐藤光様、鎌倉市長 松尾崇様、ありがとうございます。

・平塚市長 落合克宏様、茅ヶ崎市長 佐藤光様、鎌倉市長 松尾崇様、ありがとうございます。

ございました。

湘南支部 総会・懇親会

湘南支部総会 支部長挨拶



講師：河上康博氏



講師：河上康博氏

湘南支部 感謝状・表彰状

湘南支部 総会・懇親会

湘南支部 総会・懇親会